

【清水町】
校務 DX 計画

今後、本町において、「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言に基づく次世代の校務 DX 化に向け、「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に示されている、教育委員会及び学校が教育 DX を推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するため、次に掲げる事項を重点的に推進する。

1. クラウドツール活用の促進について

本町では全ての教職員に個人用メールアドレスを付与しており、情報共有や連絡等にクラウドツールを活用しているが、研修や会議等で慣例的に印刷して配布している書類も未だにある。ペーパーレス化をより一層進めるためにも慣例的な印刷を減らし、クラウドツール活用を促進させる。

2. FAX・押印等の見直しについて

災害やネットワークの不具合など FAX の方が電子メール等より効率的であるような緊急の場合を除き、FAX 及び押印の原則廃止に向けて、各関係機関に対して働きかけるなど、継続的な見直しを行う。

3. 連絡ツールのデジタル化について

保護者からの児童生徒の欠席連絡を電話だけではなく、インターネットからでも可能な環境を整備し、学校での朝の電話対応業務による教職員の負担の軽減を目指す。

4. 教育委員会所管の業務のデジタル化について

教育委員会所管の業務でも学校に紙媒体での提出を求めるものがあるため、デジタル化やクラウドツールの活用等を検討し、教職員の負担の軽減を目指す。また、研修会や会議のオンライン化についても推進するように検証する。

5. 次世代校務支援システムの導入について

現在、本町では校務支援システムの導入がされていない状況にあるが、次世代校務支援システムの導入に向けての検証を図り、教職員が担うあらゆる業務の効率化、負担の軽減を目指して、検討を進める。